



中正大学南科革新研究開発センタービル起工式(9月23日)



南瀛バイオテクノロジービルと成功大学南科研究開発ビル起工式(10月4日)



南科半導体テクノロジーと産業討論会開幕式(8月3日)

研究開発機構の駐在

国家高速インターネット及び情報処理センター南部事業グループ、国家ウエハシステムデザインセンター、国家ナノテクノロジー実験室、工研院南科院区、中正大学南科革新研究開発センター、成功大学南科研究開発センター、中央研究院南部バイオテクノロジー企画センター、通信情報技術センター、国家実験動物センター南科センター等研究部門が次々と園区内に駐在し、技術サポートと公共資源の共用を提供している。

中正大学南科革新研究開発センタービルは2005年9月23日に起工式が執り行われ、電気機器、化学工学、光工学エレクトロニクス統合、通信情報研究、精密ウエハ機具、金融管理、法律、革新開発育成センター等の部門が進駐する予定となっている。南科に更に多くの研究開発産業サービス提供を行っていく。中央研究院南部バイオテクノロジー企画センターの南瀛バイオテクノロジービルと成功大学南科研究開発ビルは2005年10月4日に起工式が執り行われた。アジア野菜研究発展センター、台南農業改良場、畜産試験所や海水養殖センター等の部門と力を出し合い、南台湾農業バイオテクノロジーの競争力を引き上げていくことであろう。国家実験動物センター南科センタービルは2005年12月22日に起工式が執り行われ、多様で高品質なソフト面とハード面での資源と人材提供を可能にし、精確な動物実験を行っていく。

産官学の研究協力

園区内の産官学交流を促進させるために、2005年に半導体、オプトエレクトロニクス、バイオテクノロジー、管理、法律、環境保護、情報セキュリティ、通信等の領域に関わるシンポジウムや討論会を21回行い、2,000人余の参加者を呼び込んだ。大会のテーマに、南科半導体テクノロジーと産業討論会、核心を突く優位性と革新された戦略シンポジウム、バイオテクノロジー飛び立つー南台湾動き出せシリーズシンポジウム、太陽エネルギーオプトエレクトロニクス重要パーツと応用システム産官学討論会等がある。

2005年8月2日に園区内に公会の産官学協力と技術交流委員会による協力団体が発足。発足目的は園区の産業製品の研究開発の需要に合わせ、園区と各大学・専門学校の研究部門人材と設備が今以上に交流協力体制を取れるようにすることにある。更に、産官学研究者専門家の講演やシンポジウムなどのイベント開催や、経験交流や製品の革新的開発の促進、製品技術の規格の統合、核心となる技術開発と製造ラインの促進を行う。